

| | | | | | |
|-------|----------|-----|------|------|-------|
| 教科 | 公民 | | | | |
| 科目 | 公共 | 単位数 | 2 単位 | 履修年次 | 1~2年次 |
| 使用教科書 | 公共（実教出版） | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | |

1 グラデュエーションポリシー及びカリキュラムポリシー

| | |
|---------------|--|
| グラデュエーションポリシー | <p>卒業までにこのような資質・能力を育成する。</p> <p>①規則正しい生活習慣を確立し、前向きに社会生活に取り組む資質を育成する。</p> <p>②主体的に行動し、コミュニケーション能力が高い人間を育成する。</p> <p>③他者を尊重し、様々な課題を持つ人との関わりを大切に地域に貢献できる能力を育成する。</p> <p>④どのような困難にも立ち向かい、適応できる人間に育てる。</p> |
| カリキュラムポリシー | <p>資質・能力を育成するため、このような教育活動を行う。</p> <p>①毎日学校に通うことを目標に、生活リズムを崩さない行動を促す。</p> <p>②日々の挨拶や、ルールやマナーを意識した学校生活を行う。</p> <p>③他者の立場を尊重し、思いやりや寛容の精神を育成するため、人権同和教育に力を入れる。（年3回以上はクラス単位での授業を行う）</p> <p>④総合的な探究の時間において、1年次から系統的なキャリア教育を展開する。</p> |

2 学習の目標

広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な資質・能力を次の観点に基づき育成することを目指す

①現代の諸課題を捉えて考察し、選択判断する概念・理論を理解する②諸課題の解決のための基本原理の活用③よりよい社会の実現を視野に、諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、自国を愛し、平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについて理解を深める。

3 指導の重点

・公共の扉・自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する・持続可能な社会作りの主体となる私たち の3つの項目単元よりバランスよく学習するよう留意する

4 学習計画

| 学期 | 単元名 | 教材 | 学習内容(指導内容) | 時間 | 評価方法 |
|----|---|---|---|---------|--|
| 前期 | 第一部「公共の扉」 ・社会を作る私たち ・人間としてよく生き ・他者と共に生きる | 教科書 板書・配付資料 によるノート 作成 ・視聴覚教材 | (導入時の作業学習の後) 各単元の教科書記述事項 要約整理の形で学習した 後、視聴覚教材を用いて 思考を深め意見交換もする | 9 | 取組状況 提出物 レポート の作成 |
| | ・民主社会の倫理 ・民主国家における ・基本原理 | 同上 | 上記内容に加え、履修生徒 の状況を見ながらグループ 討議にも取り組む | 8 | 取組状況 提出物 |
| | 第二部「よりよい社 会の形成に参加する 私たち」 ・現代の民主国家と 日本国憲法 課題学習 「平和主義と安全」 | 教科書 板書・配付資料 によるノート 作成 新聞記事 視聴覚教材 印刷教材など | 各単元の教科書記述事項 の要点について理解を深め た後、具体的な事例につい て事例学習をする 近年の新聞の抜粋記事を 用いて日本の安全保障問題 に関する課題を学習する | 10 7 | 取組状況 提出物 (考査) 取組状況 提出物 レポート |
| | 同じく第二部の 国民生活 ・現代の経済社会 課題学習 | 教科書 板書・配付資料 によるノート 作成 | 各単元の教科書記述事項 の要点について理解を深め た後、具体的な事例につい て事例学習をする | 6 | 取組状況 提出物 (考査) |
| | 「財政再建をどう すすめるか」 「のぞましい働き方」 | 新聞記事 視聴覚教材 印刷教材など | ビデオ学習により現在の日 本が抱えている課題とその 解決法について考える | 5 | 取組状況 提出物 |
| 後期 | 同じく第二部の ・国際政治の動向 と課題 ・国際経済の動向 と課題 課題学習 | 教科書 板書・配付資料 によるノート 作成 | 各単元の教科書記述事項 の要点について理解を深め た後 具体的な事例につい て事例学習をする | 7 | 取組状況 提出物 (考査) |
| | 「軍拡競争と軍縮」 「国際平和と日本」 | 新聞記事 視聴覚教材 印刷教材など | ビデオ学習により現在の日 本が抱えている課題とその 解決法について考える | 9 | 取組状況 提出物 レポート |
| | 第3部「持続可能な 社会作りの主体とな る私たち」 | 教科書 板書・配付資料 によるノート 作成 | これまで学習してきた 事項に基づき「これからの 社会を持続可能なものに する私たち」の在り方に ついて考える。 | 9 | 取組状況 提出物 考査 |
| | | | 計 | 70 | (50分授業) |

5 課題・提出物等

- ・ビデオ学習を経て考えたことや、グループ討議の意見をまとめたレポートの作成
- ・授業の内容を要約したノートの提出 ・新聞記事の抜粋を用いた学習感想文 等

6 評価の観点の趣旨

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|---|
| 現代の諸課題についての概念や理論を理解し、倫理的主体として必要な情報を適切・効果的に調べまとめている。 | 諸課題の解決に関する手がかりとなる考え方や基本的原理を活用して多面的に考察し公正に判断する力・合意形成や社会参画を視野に入れ、構想したことを議論の対象にする力を身につけている。 | 主体的に社会の形成者としてよりよい社会の実現や課題解決に取り組む力を向上しようとしている。 |

7 評価方法

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|--|
| 【評価】 各単元の理解・各課題の現状についての考査での得点率が 70%以上・・・A 40%以上・・・B 40%未満・・・C とする | 【評価】 思考・判断・表現を伴う学習で得られた内容・レポート作成を経た学習に関連する考査の問題に関する 得点率が70%以上・・・A 得点率が40%以上・・・B 得点率が40%未満・・・C とする | 【評価】 提出物の内容・課題に取り組む態度が 充分満足できる状況と判断できる・・・A 概ね満足できる状況と判断できる・・・B 努力を要する状況と判断できる・・・C |

8 担当者からの一言

単純な教科書内容の学習内容だけでなく「学習ノートの作成法」など基礎的な学習に関する指導も行います。課題学習では、内容を重点化してテーマの精選も行います。